

昨日、砺波地区中学校教育研究大会が、複数の学校で行われました。本校は、数学科で、3年1組の生徒が研究授業に臨みました。題材は「平方根」です。

本時の学習目標は、数学的な見方や考え方を養うところから、「身近に存在する問題を、平方根を利用して解決することで、平方根を利用することのよさについて気付くことができる。」と設定されました。

個人、班、全体と学習形態を変えながら、様々な考えに触れさせた。この授業者の思いを、生徒達は十分にくみとっていたような時間でした。授業者と生徒達とのやりとりが、優しくもあり微笑ましい感じに映り、信頼関係の深まりが感じられました。

授業が成功・成立する根幹には、教師と生徒の人間関係づくりが大事です。緊張した生徒もいたと思いますが、発言した生徒の内容には根拠がはっきりと含まれているものが多く見られ、うれしい思いがしました。これからの学びも楽しみです。

3年1組のみなさん、授業者の先生、大変お疲れ様でした。素敵な授業空間でした。